

【資料 1】

安心な暮らしが充実し 庄原にかかわる人の未来が つながっていくまち

令和7年度 市政懇談会 ～市民とつながる懇談会～

人口予測シミュレーション

自治振興区	令和3年人口	令和7年人口	令和17年人口	令和7年と 令和17年の 割合比較
庄原	5,846	5,548	4,798	86%
高	1,170	1,062	792	75%
本村	570	500	320	64%
峰田	568	514	374	73%
敷信	2,646	2,593	2,463	95%
東	3,716	3,619	3,379	93%
山内	1,566	1,418	1,048	74%
北	1,222	1,090	760	70%
西城	2,720	2,454	1,784	73%
八銚	427	366	216	59%

※令和17年の人口は、令和3年～7年の人口より、同水準で減少した場合の単純推計

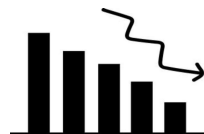
自治振興区	令和3年人口	令和7年人口	令和17年人口	令和7年と 令和17年の 割合比較
小奴可	1,039	922	632	69%
八幡	750	641	371	58%
田森	626	570	430	75%
東城	3,762	3,430	2,600	76%
帝釈	415	359	219	61%
久代	370	331	231	70%
新坂	198	167	87	52%
口和	1,870	1,657	1,127	68%
上高	1,047	928	628	68%
下高	549	490	340	69%
比和	1,233	1,070	660	62%
総額	1,212	1,062	682	64%
合計	33,522	30,791	23,941	78%



今後の市の財政状況の見込みについて(令和6年度末の推計)

今後も人口減少などに伴い、市税や普通交付税など、収入の伸びが見込めない中、少子高齢化に伴う社会保障費やライフラインの維持管理経費など、市民サービスに必要な経費等の高止まりが想定されます。

昨年度末の推計では、令和8年度以降、毎年5億円前後、貯金を取り崩す必要が生じ、令和6年度に約42億円あった貯金が、令和12年度には10億円まで減少し、大変、厳しい財政状況になると見込んでいます。



	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
年度末の市の貯金の残高	42億円	35.5億円	31.2億円	26.4億円	20.9億円	15.1億円	10.1億円
市の貯金の取崩額(※)	7.2億円	6.6億円	4.3億円	4.9億円	5.5億円	5.8億円	5億円

※:その年の「支出」に対して「収入」が不足する額、いわゆる毎年度の赤字額を市の貯金を取り崩してまかなっている額です。



限られた人員と財源の中で、「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」の実現には、過去からの延長線上の対応策ではなく、真に課題の解消に必要な取り組みを実行する必要があります。

市政懇談会の趣旨

現在、令和8年度から10年間の“庄原市の将来像”を定めるまちづくりの最上位計画となる「第3期長期総合計画」を策定中です。

本日は、「市長の思い描く将来像と所信の一端」を述べさせていただきます。

皆さんと共通認識のもと、今回の長期総合計画の策定を通じて、市民の皆さんが望む将来像の実現に向け、取り組みを進める必要がございます。

- ・ 庄原市として対応すべき課題
- ・ 課題解決のための提案
- ・ 自治振興区での取り組みや課題

などについて皆さんの意見をお伺いし



「将来像の実現に効果がある施策の検討」を進めてまいります。

所信表明

私はこれまで様々な機会において、本市の将来を憂い、不安感を抱いている市民の皆さんの切実な声に耳を傾ける中で、地域を覆う閉塞感を打破し、故郷を「未来へつなぐ」ことを決意いたしました。

その将来像として私が思い描いた「まち」の姿は、**「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」**でございます。

若い世代や子育て世代も含め、市民が必要とする医療や福祉・介護の制度をはじめ、生活に必要な機能や仕組みが維持され、あらゆる世代が不安なく安心して暮らしを送ることができること。

また、こうした本市に魅力を感じ、関係人口や新たな事業者の関わりが広がっていき、地域の経済活動が活性化することで、世代を超えて未来の展望が描けていること、そうしたまちの姿を想像したものです。

この将来像の実現に向け、3つの柱で市政運営を進めたいと考えております。



安心な暮らしの充実

3つの柱①

- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備と、若者が望むライフスタイル実現を支援
- 住み慣れた地域で健康長寿を支える医療・福祉施策の効率化と満足度の向上
- 持続可能な地域づくりと住民自治の推進、必要な時に必要な場所へ移動できる交通インフラの確保
- コンパクトなまちづくりの推進
- 防犯・防災・減災による生活の安全確保
- 人権尊重社会と男女共同参画社会の実現



将来に希望がつながっていく仕組みづくり

3つの柱②

●安心な暮らしを確立し、将来への持続可能性を高めることにより、市民や本市への関わりを持つ人々の展望を拡大する

●市内外からの投資や、新たな産業体の誘致・連携などによる、魅力的な雇用創出と、成長戦略として「基盤産業」の確立

●自然環境を活用した第一次産業・観光業の高付加価値化と基盤産業としての再生

●都市機能の再編・充実

●産学官連携の取組強化

●関係人口の創出



市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成

3つの柱③

●**庄原市を未来につなげていくための人材育成（故郷を大切に思う心を持ち、グローバル化の進む社会で躍動できる力を備えた人）と、その環境整備**

●教育機会の確保と地域連携による持続可能なまちづくり

●県立広島大学庄原キャンパスとの連携など、幅広い観点から本市の人づくり全体を俯瞰した施策

